

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ富山環水公園前		
○保護者評価実施期間	6年 11月 1日		6年 11月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	73	(回答者数) 61
○従業者評価実施期間	6年 10月 23日		6年 11月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	6年 12月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画の内容を担当以外のスタッフも理解し、計画に基づいた支援をしている	・記録に、計画達成のために行ってほしい活動、アセスメントを取りたい活動の記載をし、次回のワークで実施 ・ワークを意欲的に行ってもらうために、保護者や本人から聞き取った情報(本児の好きなキャラクターなど)の記載をしトークンやコミュニケーションに活用している	・各利用者に必要な活動を随時更新し記録に記載をしていく
2	・アセスメント面談、振り返り面談において、ニーズとそのニーズの背景を聞きだし、個別支援計画に反映できていることが多い。	・場合によっては2人体制でアセスメント面談を行い、ニーズの聞き取りを行う ・ニーズを達成するために必要な活動の説明をして、了承を得て計画に反映させている	・ニーズを達成するための活動のプロセスの説明を各スタッフができるようにするために、必要に応じて2人体制の面談を継続し、面談後スタッフに対してフィードバックを実施する
3	・移行支援として就学のタイミングで学校や放デイ、学童、にお渡しできるようにサポートブックの作成をする	・ライフステージやサービスが変わっても切れ目なく継続した支援や利用者理解に繋がるように保護者からの聞き取りをもとに作成している	・毎年実施をしていく。 ・進学先(通常級、支援級など)に考慮した内容で記載をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・困りごとがあったときに気軽にスタッフに声をかけられない状況	・受付にスタッフが常駐しているが、ワーク準備で席を外していることがある ・受付中のスタッフがPCに向かって仕事をしているため話しかけづらいと感じている可能性がある	・受付はできるだけ席を外さないようにする ・普段から保護者とのコミュニケーションをとるように心がけるなど、気軽に話しかけられる雰囲気を作る
2	・保護者会や避難訓練、自己評価結果の開示、関係機関連携などを行い、保護者全体に情報公開しているが周知できているとは言い難い	・会報誌や掲示板で周知し確認できるようにしているが閲覧する機会がない可能性がある。又は確認はしているが内容が分かりにくい可能性がある	・目に留めていただけるようにする(避難訓練のイベントの実施、掲示の仕方) ・掲示していることを保護者に周知するタイミングの見直し
3	・職員の配置人数は適切だが、日や場合によっては緊急時の対応をする人員がいけないことがある	・嘔吐、失禁などがあったときに、利用者担当と処理担当の最低2名が必要になるが、時間帯によっては1名で対応しなければいけない可能性がある	・ワーク時間帯に必ず受付のスタッフがいるように配置をし、受付スタッフが緊急時の対応ができるようにする